

産婦人科・泌尿生殖器科

泌尿器科

病棟 東病棟 13F

外来 新外来診療棟C 1F 連絡先 022-717-7756 (外来)

ホームページ <http://www.uro.med.tohoku.ac.jp/index.html>



科長
伊藤 明宏 教授

主な対象疾患

- 前立腺癌 ●腎癌 ●腎盂尿管癌・膀胱癌 ●精巣腫瘍 ●副腎腫瘍(原発性アルドステロン症など) ●尿路結石症 ●先天性水腎症
- 前立腺肥大症 ●排尿障害・尿失禁・過活動膀胱 ●性機能障害 ED ●男性不妊症

診療内容

癌、排尿障害、尿路結石、男性不妊症、副腎腫瘍、先天性水腎症など泌尿器科疾患全般に渡って診療を行っています。

前立腺癌ではロボット支援手術・放射線外照射・小線源療法・PSA監視療法など、腎癌では手術・放射線照射・凍結療法など、患者さんの状態や希望に沿った治療を提供しています。

最新のロボット支援システムを使用することで繊細な操作による低侵襲手術が可能となり、前立腺全摘・腎部分切除・膀胱全摘術・腎盂形成術をロボット支援手術で行っています。このように、根治性だけでなく、術後の負担ができるだけ少なくなるような治療を心掛けています。進行癌に対しては化学療法・分子標的治療薬・免疫療法(抗PD-1抗体薬)などを行っています。泌尿器科癌診療においては、診断から手術・放射線治療・薬物療法・緩和医療まで、一貫して診療を行う体制を整えています。

排尿障害や男性不妊症、副腎腫瘍、尿路結石、先天性水腎症などの良性疾患についても、熟練した専門医を中心に診療にあたっています。副腎の腹腔鏡手術や重症尿失禁に対する人工尿道括約筋埋込術の手術件数は全国でも有数です。難治性過活動膀胱による尿失禁に対する仙骨神経刺激装置埋込み術も開始しました。また地域の先生方と連携を取りながら診療を行っているのも当科の特徴で、2014年からは前立腺癌診療連携パスを立ち上げ、地域のかかりつけの先生方と情報を共有しながら治療後のフォローをお願いしています。

一般的な泌尿器科疾患から先進医療まで、患者さんや地域の先生方に安心して受診、紹介していただける環境を整備しています。

診療体制

・泌尿器科専門医(17人)、同指導医(9人)、がん治療認定医(10人)、泌尿器腹腔鏡技術認定医(7人)、ロボット支援手術ライセンス取得(9人)など専門医を中心に診療を行っています。

・新患:毎週月・水・金(地域医療連携センターを通して予約をお願いします)。

・専門外来:神経因性膀胱(毎週月曜日)、男性不妊症(隔週水曜日)

・手術日:月/火/水/木

・入院病床数:32床

得意分野

・ロボット支援手術:前立腺全摘術、腎部分切除術、膀胱全摘術、腎盂形成術。

・腹腔鏡手術:腎摘除術、副腎摘出術、腎尿管全摘術。精巣癌リンパ節転移に対する腹腔鏡下後腹膜リンパ節郭清術。

・前立腺小線源療法

・尿路結石内視鏡手術:熟練医師により、通常の施設では困難な症例にも対応

・精索静脈瘤に対する顕微鏡下手術

・がん薬物治療:腎癌、膀胱癌、前立腺癌、精巣癌などに対して、がん治療認定医を中心にしたきめ細かな治療

・神経因性膀胱:各種神経疾患に伴う排尿障害の診断や治療

・重度の男性尿失禁に対する人工尿道括約筋埋込術

・間質性膀胱炎に対する膀胱水圧拡張術

・難治性過活動膀胱による尿失禁に対する仙骨神経刺激装置埋込術

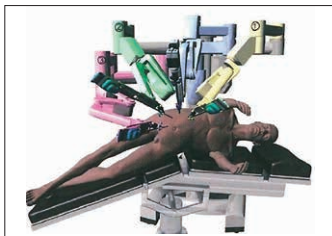


図1:ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術
小さな腎癌が対象です。



図2:前立腺小線源療法
ヨウ素125を含んだ線源を前立腺内に埋め込みがんを治療します。

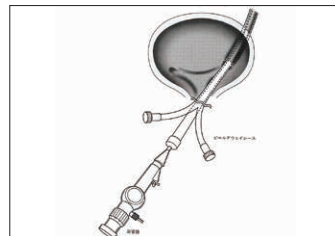


図3:尿路結石内視鏡手術
内視鏡下にレーザーで結石を破砕し回収します。

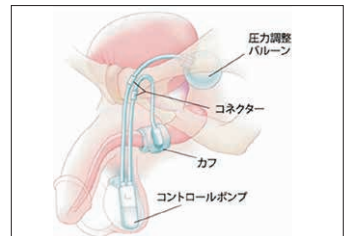


図4:人工尿道括約筋埋込術
専用の装置を埋め込み男性の重度の尿失禁を改善します。

ご紹介いただく際の留意事項

- 小児疾患については宮城県立こども病院と連携しながら治療を行っています。
- すでに病理診断がついている場合には、プレパラートを持参してください。